土佐中学校・高等学校創立70周年記念広告特集

The People of TOSA

文武両道の青春

土佐高32回生　東京大学工学部

岡村　甫教授に聞く

土佐中学校・高等学校（高知市旭町三丁目一一〇）は十七日、創立七十周年記念百名式を行なう。大正元年（一九一二）四月、蒔屋町で授業開始、二年後現在地に移転。同年十一月十八日に校舎落成式を行い、六年、昭和を迎え成に「古希」――。この間、一万三千人を超える卒業生を送り出した。

「雲山の麓銭川の畔校舎風としず　学問の響高く響き渡れ　東の空を天にし…」と建学の精神をうたう、以来、当初は男子のみの少数精鋭の英才教育、学制改革後は男女共学の高等学校・中学校となったが、「学問を重んじ、礼節をたっとび、健康でスポーツを愛する学生活を送らしめる」教育方針はかわらず、自由かつ、自ら学び、自ら考える、そんな校風を育んできた。

そしてその校風は、学業もスポーツも、あるいは文化活動をとおして、「文武・両道を走る」個性豊かな人材を育てげた。卒業生はまさにあらゆる所で多彩な活躍を展開している。それは土佐ならしめるあれこれ、個性輝く群像――。七十周年記念のこの特集ではその土佐校群像をまとめてみた。

夢を持てば苦労に耐えられる

（伊藤　丘城書）

岡村甫さん。高知市出身、五十二歳、土佐高32回生。東京大学工学部教授、工学博士。一万人を超える土佐中高OBの中でも指折りの「文武、両道の人。

土佐高時代、三年になって野球部に入り、投手として活躍するとともに東大で現役合格。東大でもエースとして神宮球場、プロ入り選手がくろうろいる東京六大学の舞台を踏む選抜チームに選ばれた。東大野球部の全日本大学の選抜チームに選ばれ、